

会 告

日 本 鉄 鋼 協 会 役 員

さる4月5日開催の第50回通常総会において、理事、監事および評議員の選挙が行なわれました結果、本年度の本会役員は次の通りであります。(敬称略)

会 長	湯川 正夫				
副 会 長	作井 誠太	芹沢 正雄			
専務理事	田畑新太郎				
理 事	荒木 透	伊木 常世	今井 光雄	今井勇之進	茨木 正雄
	磐城 恒隆	大中都四郎	大浜 侃	海江田弘也	桂 寛一郎
	木寺 淳	木下 正	北原 光雄	草川 隆次	五弓 勇雄
	佐野 幸吉	高尾善一郎	俵 信次	丹羽貴知蔵	辻畑 敬治
	松下 幸雄	松本 茂樹	三ヶ島秀雄	村田 巖	盛 利貞
	山本真之助				
監 事	奥村 虎雄	吉崎 鴻造			
評 議 員	足立 彰	青 武雄	赤坂 武	明石 和彦	秋田 武夫
	浅野檜一郎	網谷 俊平	葦沢 大義	綾部 先	井上 友喜
	井上 道雄	井関 剛	井村 荒喜	伊藤 正夫	石井健一郎
	石田 四郎	石田 退三	石田 稔	石原 正美	石原 善雄
	市川 忍	猪崎久太郎	稲田 辰男	稲山 嘉寛	今里 広記
	入 一二	岩井 英夫	岩瀬 慶三	内川 悟	植山 義久
	梅津 良之	越後 正一	小田原大造	小野 清造	小野 健二
	小野田武夫	太田 鶏一	太田 久男	大久保 謙	大谷 秀数
	大谷米太郎	大野 嘉市	大原 久之	大森 基一	大元 博
	大矢根大器治	岡田 儀一	岡田 知彦	岡田 実	岡村 武
	沖 豊治	荻野 一	奥村 福次	香川 英史	香川 進
	香春三樹次	嘉村 平八	鍵和田暢男	柏村 寿雄	門野 正二
	金田 義夫	金森 九郎	金森 祥一	川勝 一郎	川又 克二
	川本 勇	川村 宏矣	河合 良成	河上 益夫	河田 和美

喜代永政雄	菊池 浩介	岸本吉左衛門	北 耕二	北川 一栄
久米 定男	楠木 直道	栗山 俊治	黒田 勝正	桑田 賢二
小出 秋彦	小島 長作	小平 俊雄	小林佐三郎	幸田 成康
駒井健一郎	後藤 武夫	近藤 八三	佐々川 清	佐藤 忠雄
佐藤武三郎	佐藤 知雄	西郷 吉郎	斉藤 正年	斉藤 弥平
酒井 佐敏	阪田 純雄	雀部 高雄	里井孝三郎	三本木貢治
志村清次郎	清水 正博	清水 芳夫	鹿喰 清一	芝崎 邦夫
島村 哲夫	菖蒲 正俊	菅野 猛	梶山 正孝	関 文男
曾我野秀雄	荘 清彦	園田 一夫	田口 連三	田所 怜
田中 勘七	田中 実	田地川健一	田中 国雄	田村純治郎
多賀谷正義	高瀬 孝夫	高橋麟太郎	滝沢 工	滝口 征夫
武田 喜三	武田 修三	竹原 康夫	谷川 正夫	谷口 光平
谷村 瀨	俵 隆治	茶谷 順次	津田 久	土屋 勤
出淵 国保	塚本 清	筒井統一郎	妻木 貞一	外島 健吉
富山英太郎	名児耶 馨	中川不器男	中島 省一	中島 正保
中野 宏	中野 義雄	中安 閑一	中山 育雄	南里 辰次
西 博	西野 武彦	西村吉太郎	西村 秀雄	野島福太郎
馬場幸一郎	萩原 巖	橋浦 彦三	橋本 宇一	橋口 隆吉
長谷川正義	蜂谷 茂雄	浜田 正信	原田 恵伍	久松 敬弘
日向 方斉	平世 将一	平田 竜馬	不破 祐	深堀 佐市
藤井 深造	藤川 一秋	藤木 俊三	藤田 俊三	藤本 一郎
堀口 秀次	堀田 之孝	本田宗一郎	堀口 定雄	前岡 実
前田 菊雄	増本 量	的場 幸雄	松田 公扶	松平 精
松塚 清人	松永陽之助	松原与三松	松本兼二郎	松本 豊
三谷 裕康	三井 太倍	水島三一郎	水上 達三	水野庸太郎
宮下 俊二	宮代 彰	武藤 千秋	村尾時之助	室井嘉治馬
毛利 定男	望月 要	森 暁	森 一美	森崎 晟
森田恵三郎	森田 志郎	森棟 隆弘	八木貞之助	矢島悦次郎
矢野 雅雄	安田 勇治	安原 武彦	柳 武	山野上重喜
山内 二郎	山口 利彦	山田良之助	山本 信公	山本 博
養田 実	横田 正成	横山金三郎	吉井 周雄	吉岡 正三
吉田 浩	吉田 衛	吉村タキノ	和田 亀吉	

会費お払込みについてのお願い

昭和40年分会費を未納の方は、繰込みの振替用紙ご利用のうえお払込み下さいますようお願い申し上げます。またご都合で、下記本会取引銀行にお払込み下さいますとも結構でございます。

会費のお払込みは、毎年12月翌年1月から12月までの1年分(暦年制)を1度にお払込みになるか、12月に翌年1月から6月までの6カ月分を、6月にその年の7月から12月までの6カ月分を2度にかけてお払込みいただくことになっておりますから、念のため申添えます。

記

正会員会費	2,000 円
学生会員会費	1,200 円
送付先	東京都千代田区丸の内1丁目1番地 交通公社ビル 社団法人 日本鉄鋼協会
振替貯金口座	東京193番
取引銀行	三菱銀行鉄鋼ビル支店、第一銀行本店、住友銀行東京支店 東海銀行丸の内支店、日本勧業銀行東京駅前支店

会員入会勧誘についてのお願い

本会は本年で創立50周年を迎え、会員各位のご尽力により順調な発展を遂げております。

正会員、学生会員数においても、その数は年々増加しておりますが、創立50周年にあたるこの機会に、より多くの方々にご入会いただき、本会事業の一段の飛躍を計り、もつてわが国鉄鋼界の発展に貢献いたしたいとお願いいたしております。

会員各位におかれましても本会の意を了とせられ、勤務先、お知合いの方々で非会員の方がおられましたら入会のご勧誘方お願いいたします。

入会の手続き

入会申込書各欄にそれぞれご記入の上お申込下さい。(本誌繰込みの入会申込書をご利用下さい。) 適当な紹介者(学生会員の場合は所属学校の正会員)がない場合は当会で斡旋しますから紹介者欄は空白のままお送り下さい。

入会金 正会員 200円、学生会員 100円
外国会員 360円(1ドル)

会費 正会員 年額2,000円、学生会員 年額1,200円
外国会員 年額3,600円(10ドル)
維持会員 年額1口につき 10,000円

なお入会金と会費の払込は申込書受理の上入会承認書と

ともにご通知いたしますから、その上でお払込下さい。

会員の資格 在学中(大学院学生を含む)の方以外はすべて**正会員**となります。

在学中の学生生徒の方は学生会員となります。ただし学籍をはなれた場合はその時から正会員となり、会費もその時から正会員会費を払込むことになります。

卒業又は学籍からはなれた場合はすみやかに本会に通知して下さい。

会社、団体の入会は原則として維持会員となっております。

維持会員は1団体何口でも差支ありません(1口につき会誌1冊を毎号無料で配布いたします。)

会員の利益 会員には機関誌「鉄と鋼」を毎号無料で配布いたします。

本会の編集になる出版物は優先的にご入手できます。

本会主催の講演会、講習会および見学会その他の会告に出席することができます。

質疑その他種々の相談についても自由に申入れることができます。

本会には本部事業の多に各地支部があり、支部において種々の事業が運営されております。支部地区在住の会員は支部の諸行事にも参加することができます。

投稿論文について

本会では昭和39年1月より「鉄と鋼」寄稿規程を全面的に改訂いたしました。講演論文と投稿論文の取り扱いにつきましては過渡期として、必ずしも厳密な適用をいたしていませんでした。今後、会誌の内容を充実するために、寄稿規程に添った論文を寄稿いただくようお願いいたします。

講演論文は、講演論文寄稿規程により編集委員会の審査を経て論文として認められ、講演論文集として刊行いたします。したがってその研究報告のもつ獨創性あるいは優先性は当然認められております。今後とも内容の充実したご投稿をお待ちいたします。

さらに論文を会誌に投稿を希望される場合には、研究が一応完結した段階にいたつた時、寄稿要綱*の線にしたがつて論文としてまとめていただくようお願いいたします。

* 論文寄稿要綱 論文は本協会会員の獨創になる学術上の研究成果および技術上の成果を主体とするものでその内容は、本協会講演大会または支部講演会において、同一あるいは類似の研究課題について発表した研究結果を中核としてまとめたものとする。論文には研究目的、研究方法、研究結果、考察、従来のほかの研究との比較検討、結論などが正確にかつわかりやすく記述され、その研究が一応完結されたものを原則とする。原稿の長さ、図・写真・表の数に制限はないが、著者の獨創的な寄与を明確に記述することを主眼とする。

注) 投稿論文の内容が講演論文と質的にほぼ同一とみなされた場合には、編集委員会の議により同論文の加筆修正をご依頼するか、またはやむをえず不採用になることもあります。

World Calender of Forthcoming Meetings について

英国鉄鋼協会では、世界各地で開催される「冶金および関連分野」に関する諸会議のスケジュールを網羅した冊子 (World Calender of Forthcoming Meetings: metallurgical and related fields) を年6回刊行(有償頒布)することになり、この旨本会に連絡がありました。同冊子の購読を希望される方は直接、英国鉄鋼協会に

お申込み下さい。

申込先 The Iron and Steel Institute
4 Grosvenor Gardens
London SW1
Great Britain

購読料 年間 5ポンド5シリング

第14回九州支部講演会開催案内

本会九州支部では、日本金属学会九州支部と共催で標記講演会を、下記により開催いたします。多数会員ご参加下さるようご案内いたします。

日 時 昭和40年6月4日(金) 10:00~

会 場 八幡製鉄所技術研究所講演室
(北九州市八幡区枝光町 1-1)

プログラム

時間	演 題	講 演 者
10:00	高炉ダストの構成について	住金・小倉 永 野 幸 男君
10:40	コークスの研究について	八幡・技研 城 博君

11:20	エレクトロンプローブマイクロアナライザーによる 2, 3 の研究	三菱・長崎 田 島 瑞 夫君
	昼 食	
13:00	メスパワー効果の鉄鋼への応用	九州大学 江 口 鉄 男君
13:40	最近のアルミニウムの連続鑄造について	九州工業大学 中 尾 善 信君
14:20	鋼塊生産1億トンを記念して	八幡・戸畑 相 原 満寿美君
15:00	特殊鑄鋼の材質的研究	熊本大学 堀 田 秀 次君